

みんなのた場

サン・ファン研究会



遣欧使節船の真実追究
歴史の「なぜ」調べる面白さ

「サン・ファン研究会」は、仙台藩主・伊達政宗の命で建造された慶長遣欧使節「サン・ファン・パウティスタ号」を研究しています。出帆の地「つきのうら」は牡鹿半島の月浦が定説ですが、さまざまな史料を研究し、それが雄勝町である可能性を見出しています。

同会は平成27年に開かれたサン・ファン号に関する講演会をきっかけに、NPO法人「雄勝まちづくり協会」の呼び掛けで誕生しました。当初は、使節船の造船地とされる雄勝町呉壺の調査をする「サン・ファン探検隊」でしたが、後に調査研究を主体とする同研究会になりました。

現在会員は20人ほどで、造船、出帆の地を調査研究し、歴史の面白さを感じながら会員同士の交流も目的としています。代表の遠藤光行さんは雄勝町出身で、「なぜ」という疑問から歴史を調査し、理解できるのが醍醐味。さまざまな視点から可能性を探っていくことで、大きな発見につながることもあります」と話します。



サン・ファン研究会のみなさん



講演会ではさまざまな史料を視覚的に分かりやすく解説しました

きらり★まきっこ 4

何事もひたむきに挑戦

三浦 由悠さん (住吉中学校3年)

小学1年生からピアノを習っていて、今年は東京で行われたグレンツェンピアノコンクールに初挑戦しました。毎日の練習時間は気分次第ですが、うまくなりたいという気持ちをモチベーションにして毎日指を動かすようにしています。

部活動は卓球部に所属しており、最後の中総体では団体として県大会へ出場することが決まりました。部員と一緒に切磋琢磨して練習してきたので、ベスト8入りを目指して頑張りたいです。

2年生の後半からは、生徒会執行部としての活動もしています。学校をより良くしようと動く先輩たちの姿に憧れて立候補しました。多くの意見を取り入れた誰もが過ごしやすい学校にしたいので、みんなで協力していきたいです。



市報いしのまき 第311号 令和6年7月1日発行
発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作 (株)石巻日日新聞社
古紙パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数(前年比)			
令和6年5月末現在	人口	133,393人	(▲2,201)
	世帯数	62,546世帯	(252)